

災害時の備えを確認しましょう



災害時には普段から数々の備えが必要ですが、高齢者や障がいのある方については、特別な備えが必要な場合があります。以下の災害を想像したうえで、『災害の備え チェック表』の項目から、災害時の備えの課題を見つけましょう。

<災害状況の想定>

地震や水害等の災害が発生し、自宅には被害がなく生活は可能な状態ですが、ライフライン（電気、ガス、水道）が止まりました。これから3日間、この状態のまま、自宅で過ごすものとします。



確認事項1 『災害の備え チェック表』について、自宅での準備状況を確認します。チェック欄に以下の順番で記入しましょう。

- ①チェック欄：自分には必要な項目で、現在の自宅での準備状況を判断し
○ △ × ー を選んで記入してください。
○：十分準備ができている
△：多少の準備はできているが不十分だと思う
×：まったく準備ができていない
ー：自分には不要
- ②「備えの課題」欄：×・△がついた項目が現在の備えの課題です。
気が付いた課題や準備すべきものを備えの課題欄に記入してください。



確認事項2 下表の『必ず確認が必要な項目』について実施状況欄に記入しましょう。

- ：できている
×：できていない → できていない場合は今後の取り組みについて記入しましょう。

【用語説明】

※1 カテーテル

体腔又は胃、腸、膀胱等にたまった液体の排出や薬品などの注入に用いる管
導尿バック

導尿カテーテルにより排出された尿をためる専用のバックのこと

※2 人工肛門や人工膀胱用パウチ

人工肛門、人工膀胱の方が腹壁につくられた排泄口（ストーマ）につける袋

※3 災害用伝言ダイヤル（171）

災害の発生時に被災地への通信が増加し、繋がりにくい状況になった場合に提供が開始される
声の伝言板です。ご自分で一度試してみましょ。

災害用伝言 ダイヤル	171	地震など大きな災害の発生により、被災地へ電話が繋がりにくい状況になった時に利用できるようになる「声の伝言板」です	体験利用提供日 ●毎月 1 日・15 日 0 : 00～24 : 00 ●1 月 1 日～1 月 3 日 0 : 00～24 : 00 ●防災週間 (8 月 30 日 9 : 00～9 月 5 日 17 : 00) ●防災とボランティア週間 (1 月 15 日 9 : 00～1 月 21 日 17 : 00)
伝言の録音 ① 「171」にダイヤルする ② 録音の場合[1]を押す ③ 自宅の携帯電話などの電話番号を入力する(市外局番から) ④ [1]を押す ① 録音する(30 秒以内) ② 「9」を押す		伝言の再生 ① 「171」にダイヤルする ② 再生の場合[2]を押す ③ 被災地の人の電話番号を入力する(市外局番から) ④ [1]を押す ⑤ [再生]がはじまる	

※4 緊急連絡カード

救急車を呼ぶ必要がある状態になった時に緊急連絡先・持病などの情報をあらかじめ書き留めておくもの
参考：石川県はヘルプマーク・ヘルプカード（石川県ホームページ参照）

能美市の申請先：福祉課 TEL0761-58:2230 FAX0761-58-5627



ヘルプマーク



ヘルプカード



※5 避難行動要支援者名簿： 緊急時に、高齢者や障がい者など災害時の避難や避難所などでの生活が困難な人（避難行動要支援者という）で、避難誘導、安否の確認などが必要な人の名簿。本人の同意により、平常時から 警察・消防・地元等の避難を支援する関係者へ名簿情報が提供され、迅速な避難支援が期待できます。名簿は市で作成しています。